

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、平成30年3月末現在で94.5%（総人口5,100千人に対して給水人口4,818千人）となっており、未給水人口は281千人となっています。

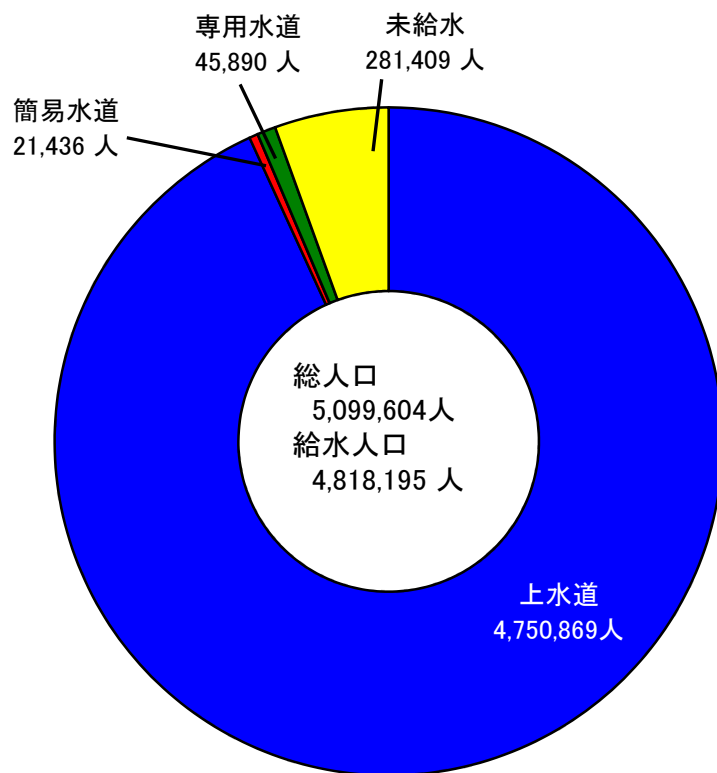
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と北九州地区が96.4%と最も高く、次いで筑豊地区が95.7%、筑後地区が85.9%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,751千人（98.6%）と大部分を占めており、次いで専用水道が46千人（1.0%）、簡易水道が21千人（0.4%）となっています。

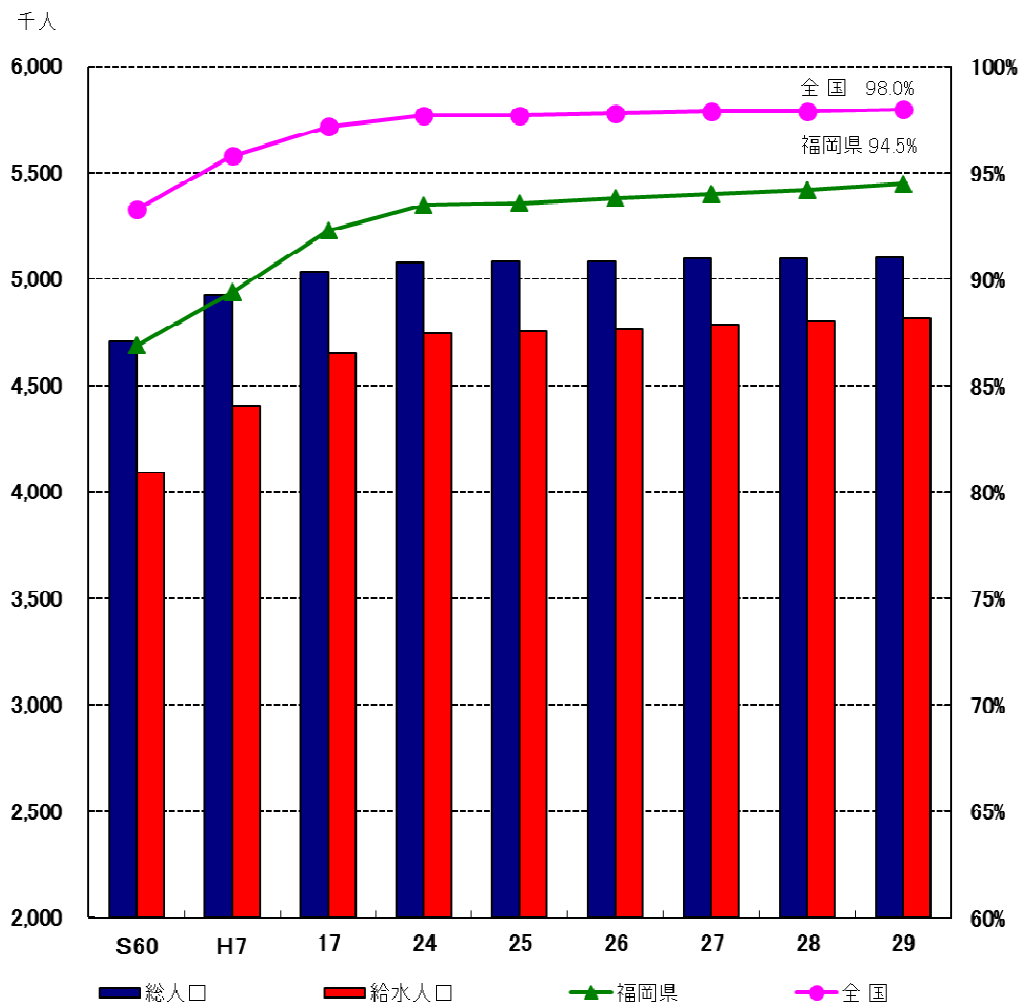
◎ 現在給水人口と普及率（平成30年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,550,368	2,457,305	2,437,663	1,626	18,016	96.4%
北九州	1,260,916	1,214,939	1,206,467	5,401	3,071	96.4%
筑後	882,191	757,475	729,406	8,395	19,674	85.9%
筑豊	406,129	388,476	377,333	6,014	5,129	95.7%
県計	5,099,604	4,818,195	4,750,869	21,436	45,890	94.5%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	17	24	25	26	27	28	29	
本県の総人口 (千 人)	4,708	4,926	5,037	5,076	5,081	5,082	5,096	5,098	5,100	
本県の給水人口 (千 人)	4,090	4,404	4,650	4,744	4,755	4,767	4,789	4,801	4,818	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	93.5%	93.6%	93.8%	94.0%	94.2%	94.5%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.7%	97.7%	97.8%	97.9%	97.9%	98.0%

2 給水の状況

(1) 年間給水量

平成 29 年度の年間給水量は 488,671 千 m³ となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.5%)。なお、年間給水量は前年度から 1,577 千 m³ 増加しています。

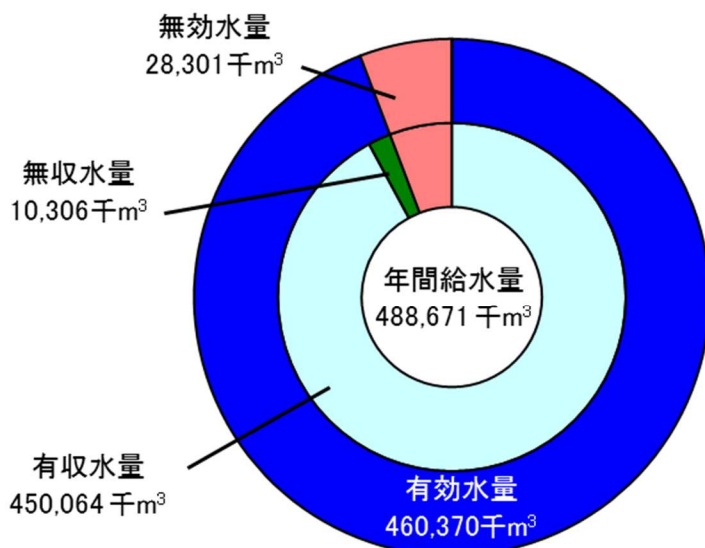
また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 94.2%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位:千m³)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	230,503	223,676	220,570	3,106	6,827	97.0%	95.7%
	北九州	135,080	125,251	121,850	3,401	9,829	92.7%	90.2%
	筑後	73,963	68,953	66,527	2,426	5,010	93.2%	89.9%
	筑豊	46,695	40,572	39,258	1,314	6,123	86.9%	84.1%
	計	486,241	458,452	448,205	10,247	27,789	94.3%	92.2%
簡易水道	福岡	145	141	140	1	4	97.2%	96.6%
	北九州	349	336	332	4	13	96.3%	95.1%
	筑後	1,050	844	795	48	206	80.4%	75.7%
	筑豊	886	596	591	5	289	67.3%	66.7%
	計	2,430	1,918	1,859	59	512	78.9%	76.5%
合計		488,671	460,370	450,064	10,306	28,301	94.2%	92.1%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない



- 年間給水量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量(有効水量+無効水量)
- 有効水量 : 水道の使用上有効とされた水量(有収水量+無収水量)
- 有収水量 : 料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量 : 料金徴収の対象とならなかった水量(管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量 : 水道の使用上無効とされた水量(配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 359,125 千 m³、業務・営業用が 77,562 千 m³、工場用が 8,878 千 m³、その他が 2,640 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	177,761	41,523	662	624	220,570
北九州	96,531	20,081	4,030	1,208	121,850
筑後	53,616	10,311	1,838	762	66,527
筑豊	31,217	5,647	2,348	46	39,258
計	359,125	77,562	8,878	2,640	448,205
構成比率	80.1%	17.3%	2.0%	0.6%	100.0%

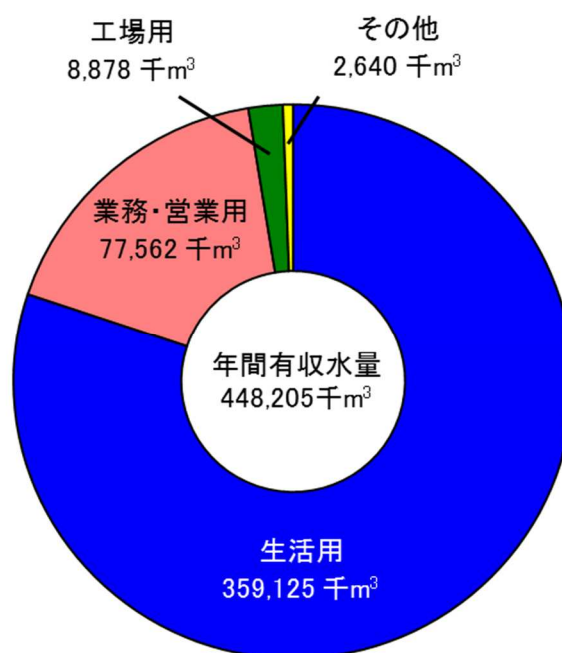
※ 用途区分は次のとおり

生活用 : 一般家庭用

業務・営業用 : 官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用、船舶用、供用栓等

工場用 : 工場用

その他 : 水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

平成 29 年度における一日平均給水量は 1,339 千 m³、一日最大給水量は 1,504 千 m³ となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 281 リットル、最大給水量が 315 リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (ℓ)	日最大 (m ³)	一人一日 (ℓ)
福岡	上水道	631,515	259	687,046	282
	簡易水道	397	244	830	510
	計	631,912	259	687,876	282
北九州	上水道	370,082	307	413,396	343
	簡易水道	957	177	1,477	273
	計	371,040	306	414,873	342
筑後	上水道	202,638	278	232,369	319
	簡易水道	2,876	343	3,667	437
	計	205,514	279	236,036	320
筑豊	上水道	127,932	339	162,064	429
	簡易水道	2,427	403	3,378	562
	計	130,358	340	165,442	432
県計	上水道	1,332,167	280	1,494,875	315
	簡易水道	6,657	311	9,352	436
	計	1,338,824	281	1,504,227	315
全国	上水道	-	330	-	372

○ 平均給水量

- ・ 日平均：年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

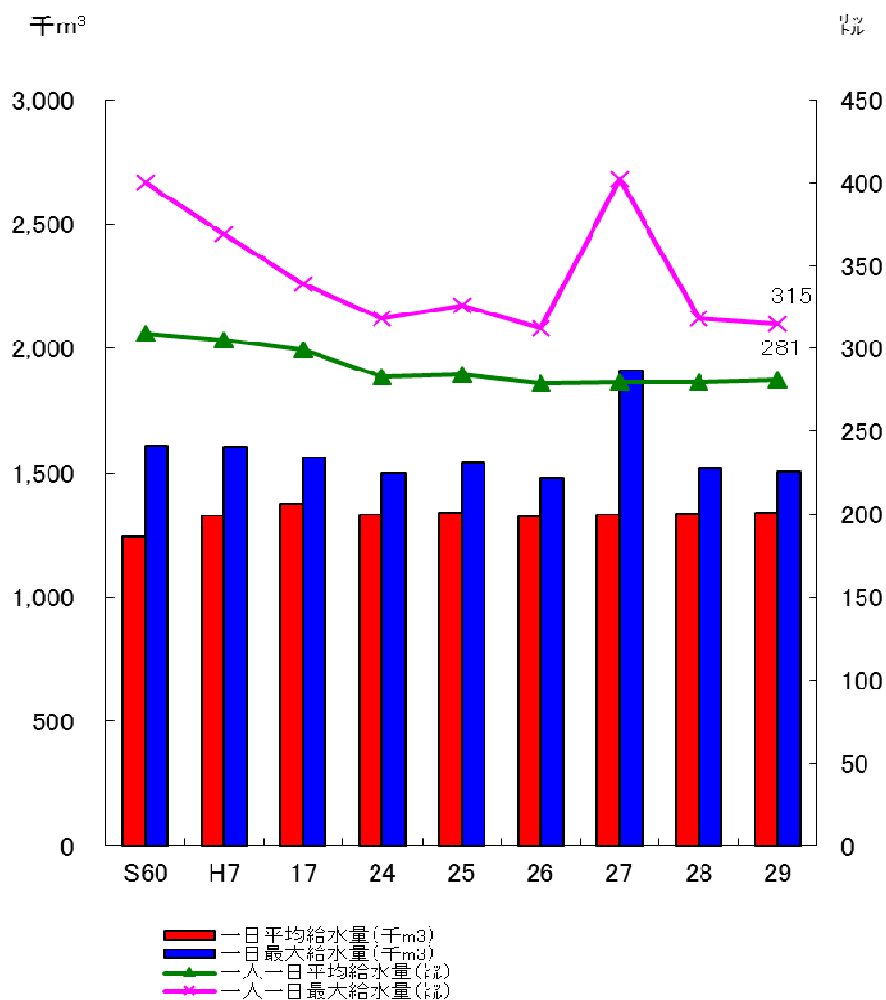
○ 最大給水量

- ・ 日最大：水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

※ 全国は平成 28 年度末の値(本資料作成時点で平成 29 年度値は未公表)

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成28年1月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で一時的に増加した平成27年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。一日平均給水量・一人一日平均給水量については、近年、ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



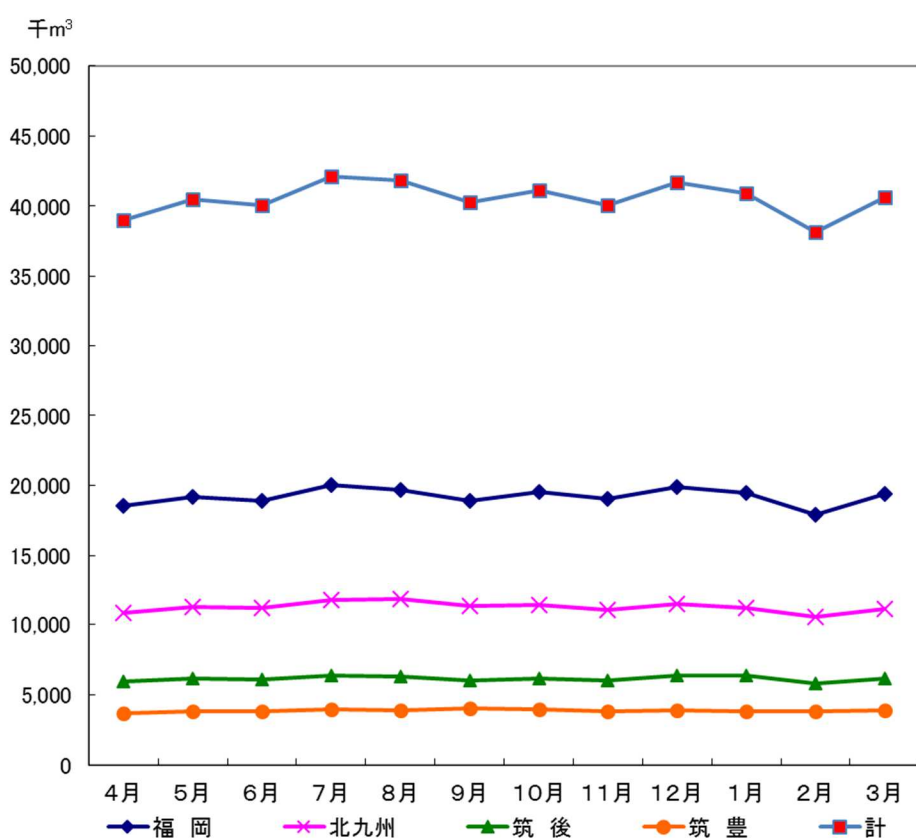
区分 \ 年度	S60	H7	17	24	25	26	27	28	29
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,333	1,339	1,321	1,331	1,335	1,339
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,500	1,540	1,477	1,912	1,516	1,504
一人一日平均給水量(ℓ)	309	305	299	283	284	279	280	280	281
一人一日最大給水量(ℓ)	400	369	339	318	326	312	402	318	315

(4) 月別給水量

平成 29 年度の上水道事業における月別給水量の最大値は 7 月の 42,120 千 m³ であり、最小値は 2 月の 38,136 千 m³ となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は 7 月の 20,029 千 m³、最小値は 2 月の 17,898 千 m³、北九州地区の最大値は 8 月の 11,851 千 m³、最小値は 2 月の 10,548 千 m³、筑後地区の最大値は 7 月の 6,381 千 m³、最小値は 2 月の 5,821 千 m³、筑豊地区の最大値は 9 月の 4,022 千 m³、最小値は 4 月の 3,668 千 m³ となっています。

◎ 月別給水量(上水道)

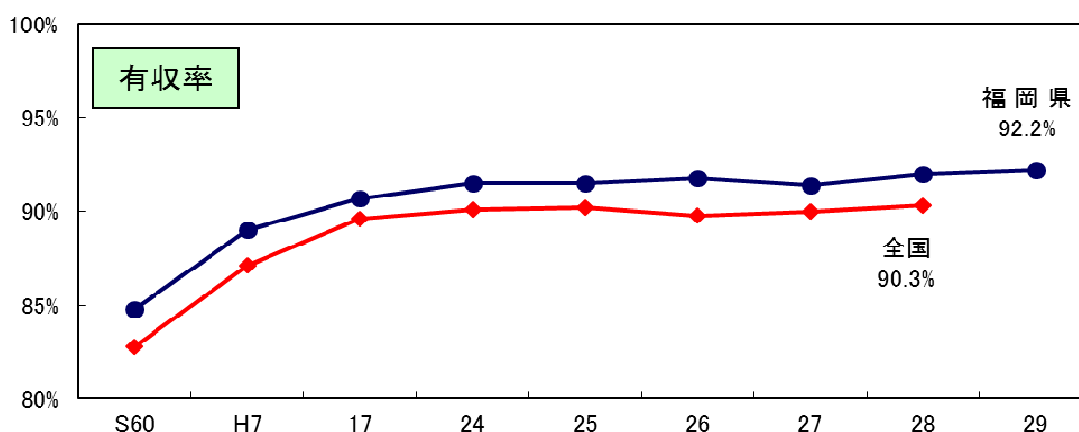
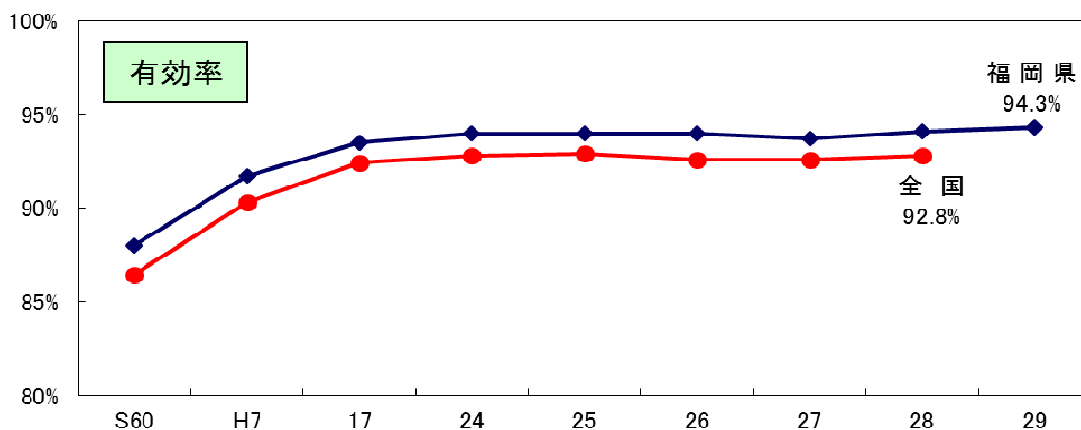


広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,522	19,229	18,909	20,029	19,663	18,936	19,534	19,041	19,910	19,445	17,898	19,387	230,503
北九州	10,846	11,261	11,181	11,742	11,851	11,304	11,425	11,083	11,494	11,223	10,548	11,122	135,080
筑後	5,950	6,178	6,113	6,381	6,349	6,021	6,179	6,060	6,370	6,360	5,821	6,181	73,963
筑豊	3,668	3,841	3,845	3,968	3,944	4,022	3,994	3,854	3,909	3,871	3,869	3,910	46,695
計	38,986	40,509	40,048	42,120	41,807	40,283	41,132	40,038	41,683	40,899	38,136	40,600	486,241

(5) 有効率、有収率

上水道事業における平成 29 年度の有効率は 94.3%、有収率は 92.2%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	24	25	26	27	28	29
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	94.0%	94.0%	94.0%	93.7%	94.1%	94.3%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.8%	92.9%	92.6%	92.6%	92.8%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.5%	91.5%	91.8%	91.4%	92.0%	92.2%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	90.1%	90.2%	89.8%	90.0%	90.3%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

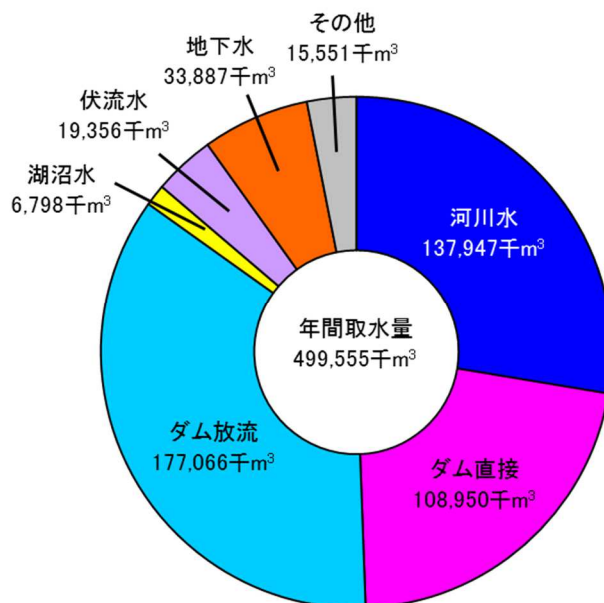
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の平成 29 年度値は未公表

3 取水の状況

平成 29 年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて 499,555 千 m³ で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(86.2%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位: 千m³)

年度	S60	H7	17	24	25	26	27	28	29
河川水	116,791	163,039	129,617	128,986	120,143	113,648	111,554	122,196	137,947
ダム直接	131,761	113,409	109,365	107,876	115,216	128,638	137,185	132,087	108,950
ダム放流	134,891	120,667	165,716	161,330	176,168	166,278	172,500	168,761	177,066
湖沼水	5,537	7,981	9,327	7,431	6,681	6,459	6,599	6,426	6,798
伏流水	22,736	24,389	31,518	21,715	22,729	21,033	15,968	17,266	19,356
地下水	47,998	56,701	49,135	46,449	39,794	38,963	35,865	32,782	33,887
その他	1,003	1,429	24,138	27,287	15,399	21,723	15,476	14,888	15,551
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(26,540)	(14,597)	(20,905)	(14,809)	(14,281)	(14,984)
計	460,717	487,615	518,816	501,074	496,130	496,742	495,147	494,406	499,555

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

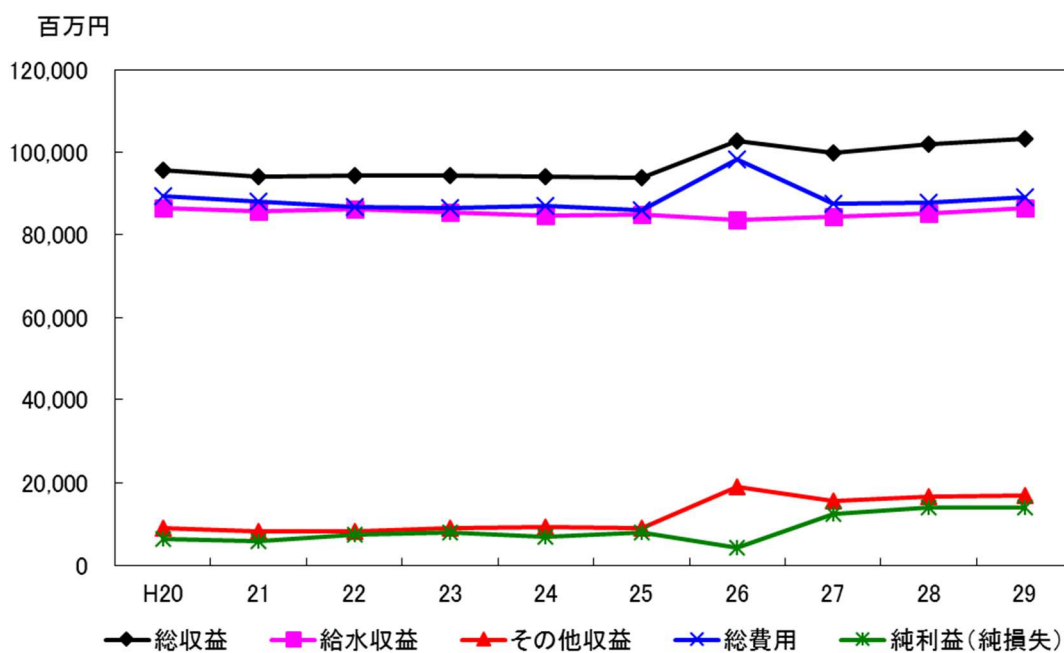
平成 29 年度における上水道事業の総収益は 1,032 億円となっており、前年度から 13 億円増加しています。また、総費用は 892 億円となっており、前年度から 13 億円増加しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は 140 億円となっており、前年度から変化していません。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:千円)

年度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H20	95,636,195	86,497,671	89,317,396	6,318,799
21	94,048,911	85,699,480	88,084,623	5,964,288
22	94,376,472	86,197,403	86,888,804	7,487,668
23	94,415,833	85,491,831	86,423,294	7,992,539
24	93,967,231	84,698,569	86,907,512	7,059,719
25	93,839,680	84,873,833	85,887,029	7,952,651
26	102,736,917	83,751,903	98,336,934	4,399,983
27	99,874,383	84,340,771	87,490,321	12,384,062
28	101,890,149	85,209,051	87,865,838	14,024,311
29	103,221,174	86,379,209	89,173,044	14,048,130



(2) 費用構成

平成29年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費がその約半分を占めています。

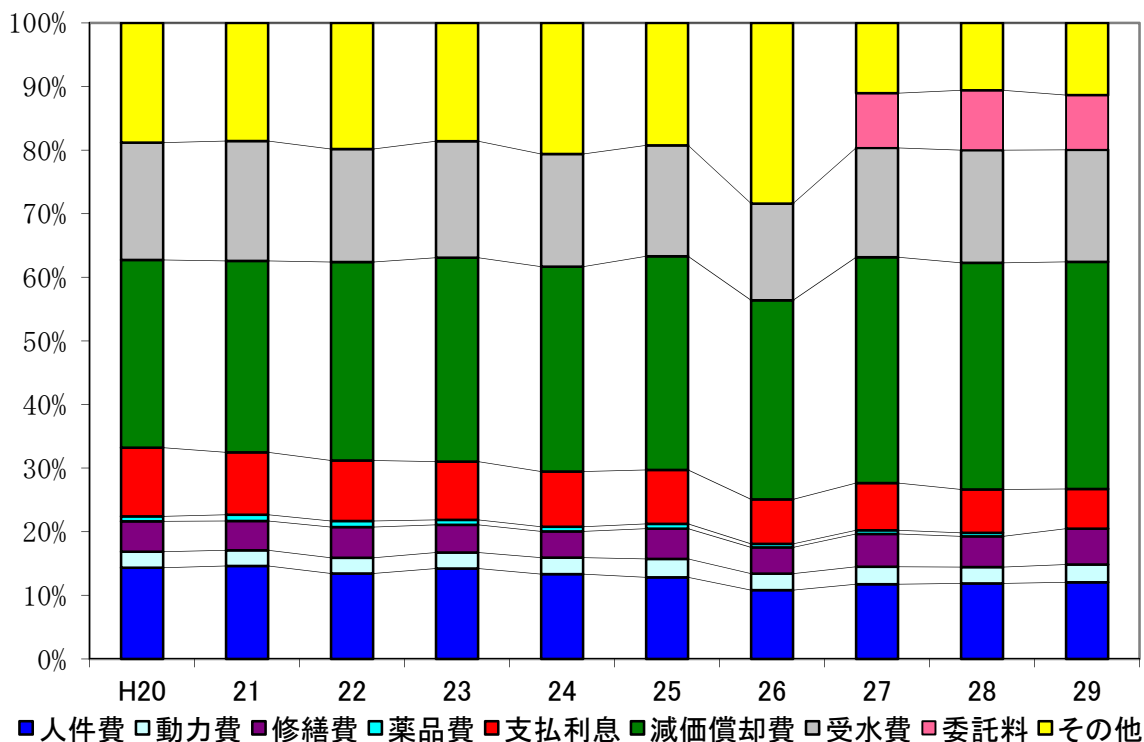
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:千円)

年 度	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人件費	12,674,745 (14.3%)	12,753,005 (14.6%)	11,583,672 (13.4%)	12,163,184 (14.2%)	11,586,512 (13.3%)	10,918,837 (12.8%)	10,572,446 (10.8%)	10,161,902 (11.7%)	10,349,162 (11.9%)	10,580,614 (12.0%)
動力費	2,216,800 (2.5%)	2,135,244 (2.4%)	2,128,387 (2.5%)	2,151,859 (2.5%)	2,247,557 (2.6%)	2,456,538 (2.9%)	2,515,888 (2.6%)	2,372,793 (2.7%)	2,226,399 (2.6%)	2,450,891 (2.8%)
修繕費	4,229,611 (4.8%)	4,031,509 (4.6%)	4,172,701 (4.8%)	3,728,859 (4.4%)	3,593,901 (4.1%)	4,046,637 (4.8%)	4,029,054 (4.1%)	4,460,436 (5.2%)	4,222,599 (4.8%)	4,968,166 (5.6%)
薬品費	688,817 (0.8%)	847,235 (1.0%)	823,165 (1.0%)	652,646 (0.8%)	628,482 (0.7%)	639,937 (0.8%)	564,837 (0.6%)	507,302 (0.6%)	477,299 (0.5%)	542,257 (0.6%)
支払利息	9,559,580 (10.8%)	8,570,961 (9.8%)	8,201,306 (9.5%)	7,854,700 (9.2%)	7,551,342 (8.7%)	7,219,461 (8.5%)	6,832,256 (7.0%)	6,422,951 (7.4%)	5,950,415 (6.8%)	5,481,125 (6.2%)
減価償却費	26,095,868 (29.5%)	26,235,553 (30.1%)	26,946,549 (31.2%)	27,436,205 (32.1%)	27,973,733 (32.2%)	28,588,867 (33.6%)	30,584,689 (31.3%)	30,727,993 (35.5%)	31,074,868 (35.6%)	31,360,034 (35.5%)
受水費	16,317,695 (18.5%)	16,449,304 (18.9%)	15,330,453 (17.8%)	15,679,005 (18.3%)	15,404,023 (17.7%)	14,841,081 (17.4%)	14,845,990 (15.2%)	14,880,467 (17.2%)	15,457,379 (17.7%)	15,477,065 (17.5%)
委託料								7,461,594 (8.6%)	8,196,093 (9.4%)	7,576,672 (8.6%)
その他	16,656,167 (18.8%)	16,202,508 (18.6%)	17,113,673 (19.8%)	15,910,362 (18.6%)	17,910,553 (20.6%)	16,389,179 (19.3%)	27,773,301 (28.4%)	9,556,905 (11.0%)	9,244,517 (10.6%)	9,973,579 (11.3%)
計	88,439,283 (100.0%)	87,225,319 (100.0%)	86,299,906 (100.0%)	85,576,820 (100.0%)	86,896,103 (100.0%)	85,100,537 (100.0%)	97,718,461 (100.0%)	86,552,343 (100.0%)	87,198,731 (100.0%)	88,410,403 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

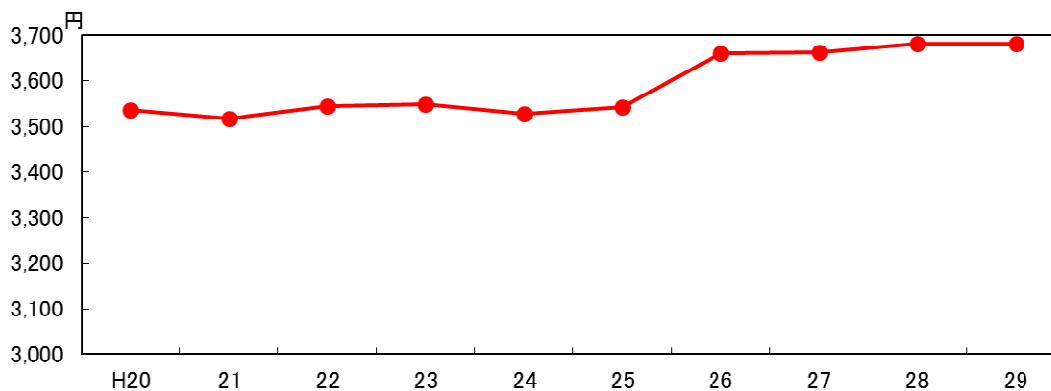
平成30年3月末現在における家庭用1ヶ月20m³の水を使用した際の料金に対する事業数の分布は下記の表のとおりです。また、県平均の水道料金は3,681円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20m³当たりの水道料金（上水道）

（平成30年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	4
2,500円以上～3,000円未満	6
3,000円以上～3,500円未満	6
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	12
4,500円以上	4

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20m³当たり）



（単位：円）

年度	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
福岡県	3,536	3,518	3,546	3,549	3,529	3,543	3,661	3,663	3,681	3,681

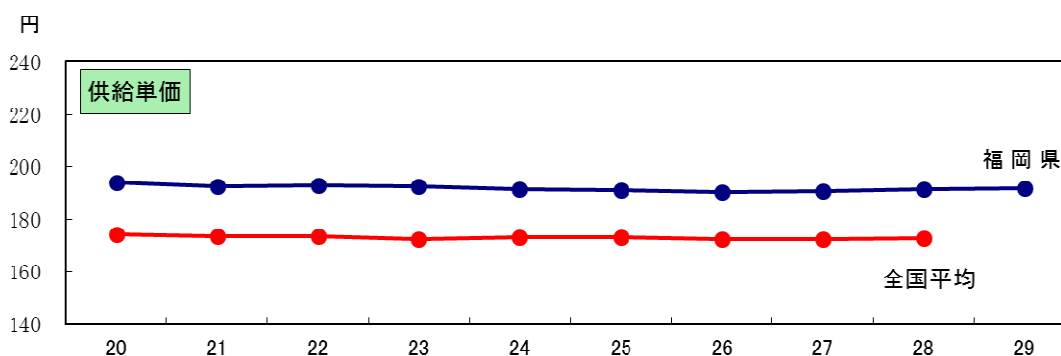
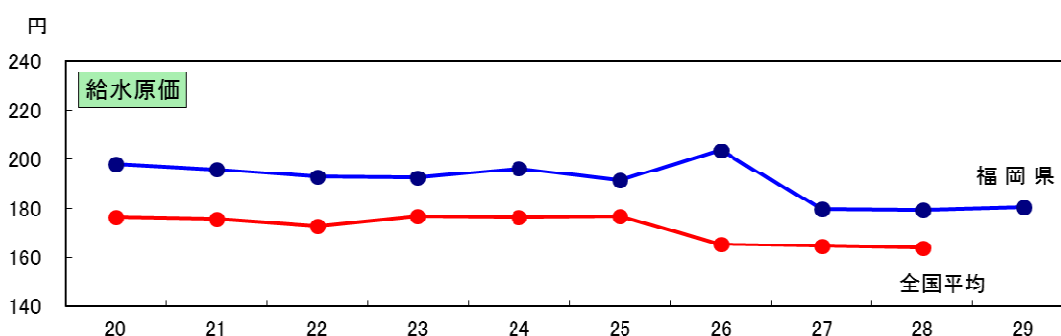
※ 基礎料金・メーター使用料を含む
 全国平均（平成28年度）：3,236円

6 給水原価と供給単価（上水道）

平成 29 年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 180.20 円/m³ 及び 191.83 円/m³ となっています。

また、いずれも全国平均を上回って推移し、近年は横ばい傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
給水原価	福岡県	198.17	195.97	192.86	192.62	196.36	191.35	203.39	179.74	179.17	180.20
	全国平均	176.35	175.47	172.65	176.78	176.26	176.51	165.13	164.40	163.85	未公表
供給単価	福岡県	193.82	192.54	192.64	192.43	191.39	190.84	190.32	190.64	191.25	191.83
	全国平均	174.31	173.51	173.46	172.47	172.95	173.12	172.34	172.47	172.80	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の平成 29 年度値は未公表